

ほほえみ

第23号 2011年 12月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



『雪の大立崎』橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

- 私達は、真に国民全体の奉仕者であることを自覚し、職務に励みます。
- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、国の担うべき医療を推進し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

- 七尾病院にやってきました・・・ 2
- ボランティア活動ありがとうございます・・・ 3
- 全自動抗酸菌培養検査装置の導入について・・・ 4
- 第3回西湊地区「健康教室」を開催して・・・ 5

七尾病院にやってきました



神経内科医長 廣畑美枝

2011年4月、七尾病院にやってきました。新病棟の最上階から七尾湾を臨むと、それはもう最高！リゾート地に滞在しているかのような錯覚すら覚えます。ちょっと大げさかもしれませんが「生きていて良かった」と病棟回診のたびに癒されています。臨床医としては、このような喜びをすべての患者さまにお届けしたいものです。七尾病院の皆さまと出会い、ここでお仕事できることに心から感謝しています。

自己紹介を兼ねまして、わたしのこれまでの仕事を少しご紹介させていただきます。わたしは、金沢大学医学部大学院 脳老化・神経病態学（神経内科）教室に所属し、神経内科専門医、日本認知症学会専門医として、神経内科全般のほか、神経変性疾患（アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、レビー小体型認知症、多系統萎縮症、等）や高齢者に多くみられる脳血管障害（脳アミロイドアンギオパチー、等）の診療・臨床研究・脳検診に従事してまいりました。また同時に基礎研究としまして、患者さまの身体に蓄積し病気を引き起こす原因となる異常な蛋白質（ β アミロイド蛋白、 α シヌクレイン蛋白）が、どのようにしたら蓄積しなくなるか、という事に興味を持って金沢大学の研究グループと一緒に取り組みを続けています。

七尾病院は、患者さまの診療と幸せを第一としながら、職員の研修・研究活動へ理解が深く、ハード、ソフトともに大変恵まれた環境であることを実感いたしました。患者さまに教えていただいたことを糧に、明日の診療を少しずつ良くしていくことが出来たらいいな、そんな密かな向上心を着実にかなえてくれる、良い循環を生む優れた病院だと思います。この地でがんばりたいというスタッフ（そして患者さまも！）がどんどん集まって来てくださることを願ってやみません。



米国アルツハイマー病学会国際学術集会（2011年7月16-21日，フランス，パリ）での
ポスター発表にて

ボランティア活動ありがとうございます



ボランティア担当

企画班長 穴田 顕 司
副総看護師長 酒 井 陽 子

当院は七尾婦人連合会（袖ヶ江、矢田郷、東湊、石崎、南大呑地区）、天理教七尾支部、または心ある個人によるボランティア活動によって支えられています。年間の延べ人数は、約300名にもなりますし、20年以上の歴史あるボランティアです。

患者さま、ご家族にとっての癒しとなるようにと、庭木、花壇の手入れ、廊下の生け花などに協力いただき、地域の方々の思いやりと優しい心が、病院のあちこちに見られます。私達もまた、ほっと温かい気持ちになれる瞬間です。

また、安全で清潔な環境づくりのひとつとして、患者さまの車椅子清掃や、ベッド柵カバーづくりなどの縫物などにも参加してもらっています。その他、人工呼吸器を必要とする患者さまの医療に必要な衛生材料を作っていただいたりして、患者さまの身の回りも、ボランティアの方々のお気持ちがたくさん盛り込まれています。

今回は、ボランティアの活動を一部ご紹介いたします。



七尾婦人連合会による車椅子清掃の場面です。



七尾婦人連合会の方々のボランティアリレーによって、きれいなベッド柵カバーができました。

ボランティア募集中！

七尾病院では、病院と地域をつなぎ、患者さまが安心して療養生活を受けられるためのボランティアを募っています。

縫製、衛生材料づくり、車椅子清掃など環境ボランティアなどなど…

ぜひ、気軽にお問い合わせください。



個人のありがたいボランティアで毎週月曜日には、外来の玄関に、お花を生けていただいています。

全自動抗酸菌培養検査装置の導入について

臨床検査技師 加藤 輝

この10月より全自動抗酸菌培養検査装置(BACTEC MGIT320)が検査室に新たに導入されましたので、ご紹介いたします。

抗酸菌には、結核菌とそれによく似たものを含む結核菌群と、それ以外の非結核性抗酸菌があります。当院検査室ではそれらの菌を培養し、菌の発育の有無や、お薬の効果(薬剤感受性検査)を調べています。当装置は、これらの検査を自動判定にて行います。

当装置導入前には、我々は2～3日毎に目視にて菌の発育を観察し、薬剤感受性検査は外部に委託しておりました。それに対し、導入後は2時間毎に24時間体制で発育の判定を行い、薬剤感受性検査は院内で実施して従来の半分程度の期間で結果報告ができるようになりました。これにより主治医の診断や、お薬の効果的な処方短期化を実現しました。

比較的長期の治療が必要とされる抗酸菌の感染症において、新装置の設置により上述の検査をスピーディーに進めることは、患者様の負担の軽減につながるものと自負いたしております。



新しく導入したBACTEC MGIT320

発育陰性(左)と陽性(右)
抗酸菌は、種類にもよりますが、発育するのに10日前後を要します。



第3回西湊地区「健康教室」を開催して

医療社会事業専門員 宮原 千夏子

7月16日(土)午後5時30分より、西湊公民館2階集会室において、西湊地区の健康まちづくり推進員を中心に、地区広報誌の案内をご覧になり参加された方々を対象に健康教室が開催されました。西湊地区健康まちづくり推進連絡会会長の御挨拶と院内スタッフの自己紹介で始まり、当院院長による常備薬とお薬手帳についての解説の後、医師・管理栄養士がそれぞれの立場から便秘症と便秘予防の食生活に関する講演が行われました。

第1演題は、松島昭廣病院長による「備えておきたい家庭薬」という題でのお話しでした。「お薬手帳」の紹介と主な目的、重要性に関して震災時に大いに活躍した事例から学ぶことができました。「お薬手帳」は、①重複投与・相互作用・副作用の防止、②薬によるアレルギー・副作用の推測、③病歴・病状の推測、④災害時の対応を中心に様々な目的で使用されています。常備薬を保管する救急箱の置き場所には工夫をするとともに1年に1度はその中身を点検する必要があります。また、大人用の常備薬に加えて小児用の薬も揃えておくことも重要と言えます。

第2演題は、消化器科の陳文筆診療部長による「便秘症について」という題でした。便意の起こる仕組みや形状、便秘の原因、下痢の種類、その他の疾患との関連性を学びました。排便習慣は個人差が大きく、排便の回数が単に少ないだけでは便秘症とは言えません。問題となるのは、便が出にくい、出てもまだ残っている感じがする、回数が少なく硬いなどの自覚症状が不快で、日常的に支障が出ている場合に「便秘症」と呼ばれるようです。講演の最後に、参加者全員が自身の便秘度をチェックリストで確認すると、女性や高齢の方が多かったせい全体として便秘の兆候が高くでました。是非、悪循環に陥る前にしっかりと治療を行いリズムのある排便コントロールをめざしましょう。

第3演題は、永田まり子管理栄養士による「便秘予防の食生活」という題でした。便秘対策、腸内環境を整える乳酸菌やビフィズス菌・オリゴ糖・食物繊維、身近な食品の紹介をクイズの出題を通じてわかりやすく説明されました。また、便秘の種類ごとに積極的に取り入れて欲しい食事と避けて欲しい食事を紹介され、便秘予防だけでなく下痢対策の意識も向上しました。

地域住民の参加人数は40名で、今回は、測定後に看護師による助言や健康相談に乗る場所を設けていたため、参加者からは、「落ち着いて相談に乗ってもらえた」、「親身に話を聞いてもらえた」と感激される声も聞かれました。各種測定値に関する助言を当院スタッフに求める場面や、講演を積極的に受講される様子から、皆さんの日頃の健康づくりに対する興味と関心が伝わってきました。



看護師募集!

入院から在宅までの
看護を一緒に行いましょう!

*しばらく医療の現場から
離れていた方への職場復
帰を支援するための研修
を行っています。ご利用
下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課
(0767) 53-1890 (内線1104)



外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:15

	月	火	水	木	金
内科	横地	笠倉	陳	廣畑	堂下
外科				土島	
ペインクリニック	松島		松島		松島
小児科	松島	山本 松島	岡田 松島		松島
消化器科	陳	陳	陳	陳	陳
呼吸器科		笠倉			
神経内科	横地	廣畑	横地	廣畑	横地

※小児科の(月)、(金)の午後は、小児神経発達障害の診療も行ないます。

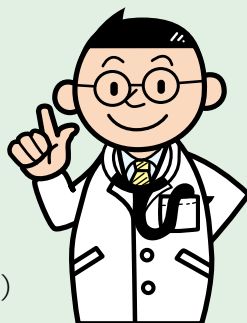
※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

病院概要

■医療法病床 240床
(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

日に日に空が暗くなるのが早くなってきております。今年もイルミネーションの点灯が始まりました。冬季期間、患者様やご家族の心が温まる憩いとなれば幸いです。

医療社会事業専門員 宮原 千夏子